

2020 年度東北大学リーグ開催指針

東北大学バスケットボール連盟

大会開催の趣旨

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、「新生活様式」と呼ばれる生活を余儀なくされている東北大学バスケットボール連盟所属チームの選手たちのために、安全・安心を可能な限り確保しながら、大会を開催し、バスケットボールを楽しむ環境を提供することを目的とする。

その際、新型コロナウイルス感染拡大防止策を最大限講じるため、選手、スタッフ、学生委員および理事全員が一丸となって取り組むものとする。

I. 大会開催ガイドライン

1. 大会開催について

以下の点を考慮して、大会の開催を検討する。

- (1) 日々変化する政府の方針を確認し、方針を検討する
- (2) 東北6県において、緊急事態宣言等が出されておらず、移動の制限等が行政から課されていない
- (3) 公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、JBA）の方針に沿って検討する
- (4) 東北大学バスケットボール連盟が策定した本指針を遵守する
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底する
- (6) 無観客試合とするとともに、入館するチーム関係者（選手・スタッフ）の人数を制限する

2. 大会参加についての条件

- (1) 東北大学バスケットボール連盟が策定したガイドラインに基づくこと
- (2) 所属部員および指導者、チーム関係者に試合前2週間以内に新型コロナウイルスの陽性者、および検査（PDR 検査など）中の濃厚接触者がいないこと
- (3) JBA の方針に沿って検討すること
- (4) 日々変化する政府の方針を確認し検討すること
- (5) 所属大学が大会参加を認めていること

3. 大会期間中の大会中止の条件

- (1) 大会期間中に大会関係者、所属部員および指導者、チーム関係者、審判に新型コロナウイルスの陽性患者が発生しかつ感染拡大が確認された場合
- (2) 緊急事態宣言や移動制限などが東北6県において発令された場合
- (3) 政府やJBA、全日本大学連盟などの上位団体等からの指示があった場合
- (4) その他、大会運営が困難であると判断された場合

4. 大会中止等の検討方法

- (1) 大会開催中の場合、会長、副会長、理事長、副理事長、会場責任者（会場校理事など）によって大会中止の検討をおこなう
- (2) 大会開催前の場合、会長、副会長、理事長、副理事長で原案を作成し、理事会にて決定する
- (3) 政府やJBA、全日本大学連盟などの上位団体等の方針に沿って検討する
- (4) 東北大学バスケットボール連盟が策定した本指針に基づく

II. 大会方式

1. 実施方針

- (1) 一部リーグは当初予定のリーグ方式を変更し、短縮開催（1巡のみ）に変更する。
- (2) 二部はトーナメント戦を実施する。
- (3) 下記を勘案し、入れ替え戦は実施しない。
 - (ア) 各チームの準備状況が大きく異なること
 - (イ) 勝利に固執することによって、体調不良者が無理して出場してしまうこと
 - (ウ) (イ) などにより、COVID-19感染拡大がおき、クラスター等が発生すること
 - (エ) 感染者発生により出場できなくなるチームがでること、正当な順位評価ができなくなる可能性があること
- (4) ただし、全日本大学選手権が開催された場合、推薦チームを選出にあたっては一部リーグが終了している場合はリーグ戦結果を参考に選出する。一部リーグが終了していない場合は、理事会により検討する。

2. 具体的実施方式

- (1) 試合方式
 - (ア) 一部
 - 6チームでリーグ戦を実施する。
 - 1巡のみの総当たり戦で試合を行う（計5試合）
 - 開会式、閉会式は実施しない。
 - サブスコアをつけない
 - 個人賞は表彰しない。

- (イ) 二部
 - トーナメント戦を実施する。
 - 3位決定戦は実施しない。
 - 開会式、閉会式は実施しない。
 - 個人賞は表彰しない。
 - (ウ) 入れ替え戦
 - 実施しない
- (2) 大会中止時の順位決定について
- 順位はつけない。
- ただし、インカレへの推薦チーム（男女各2チーム）は理事会にて決定する。

Ⅲ. 新型コロナウイルス感染拡大予防対策

- ① 無観客試合とする
- ② 入館するチーム関係者（選手・スタッフ）の人数を制限する
- ③ 施設（体育館・更衣室）の換気状況の確認（空間除菌より換気が特に大切）
- ④ 定期的に接触場所の消毒を徹底（T0 セット、得点版、試合球、ベンチなどの消毒するための除菌シートなどの準備）
- ⑤ 密室になる更衣室の利用はできるだけ避け、更衣のできる広い場所の確保
 - ・ 必要に応じて、観客席や廊下等における区切られたエリアでの更衣を認める
- ⑥ 来場する者（大会関係者含む）は全員健康チェックシートを提出 → JBA 作成健康チェックシート（大会関係者・審判・参加チーム用）
- ⑦ 体調不良や発熱のある者は、会場に入らない
- ⑧ 会場における選手の検温
- ⑨ 選手が密にならないように、試合の間隔を空ける（例えば、120分間隔で試合開始）
- ⑩ 1日1試合を基本とする。（ただし、二部準決勝・決勝は同日開催とし、第2、第3試合の間隔は十分に空ける。）
- ⑪ 試合終了後、T0 および会場担当者以外は速やかに退館する
- ⑫ コート上の選手、審判以外のマスク着用
- ⑬ 手洗い、うがい、消毒の徹底を指導
- ⑭ ベンチは2列にするなど、会場施設の許す範囲で密になるのを防ぐ
- ⑮ 会場での食事は原則禁止とする
- ⑯ 水分補給のボトルは、共用せず、選手個々に用意する
- ⑰ 会場で発生したゴミは各自持ち帰る
- ⑱ その他

大会参加：学生用

1. 大会参加の条件

- (1) 本人に活動の意思があること
- (2) 活動参加に関する保護者の承諾（未成年者のみ）
- (3) 直近の2週間で健康状態に異常がなく、体調、体温測定に変調がない

大会前2週間において以下の項目にあてはまる方は参加しない。

- ◇平熱を超える発熱
- ◇咳、のどの痛みなどの風邪症状
- ◇だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ◇嗅覚、味覚の異常
- ◇身体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
- ◇同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ◇過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象とはしないので、予防第一で対応を決定すること（本来であれば、エントリー後の棄権は処罰等の審議対象となる）。また、コーチ有資格者が同様の理由により不在となった場合には大会実施委員会担当者に速やかに連絡を取り、指示を仰ぐこと。

- (4) 当日、発熱、喉の痛み、咳、全身の怠さなど、風邪と考えられる症状がある場合は参加不可
- (5) 風邪薬や解熱剤を服用しての参加は厳重に禁止
- (6) 会場利用が済めば、速やかに帰宅する（利用前後の滞在時間を短くする）こと
- (7) クラブ指導者（部長・監督・コーチ・トレーナー）の指導や管理事項を遵守すること
- (8) 東北大学バスケットボール連盟が策定した本指針を遵守すること

2. 大会参加時の遵守事項

- ① 来場する際の移動は、可能な限り感染リスクの小さい方法を利用する。
- ② 3密を避けるため定められた時間前に入館しない。
- ③ 来場時はマスクを着用すること。
- ④ チームは入館者名簿を提出する。
- ⑤ 来場する者（チームスタッフを含む）は全員健康チェックシートを提出する
→JBA 作成健康チェックシート（参加チーム用）
- ⑥ 体調不良や発熱のある者は、会場に来ない。会場に入らない。
- ⑦ 入館時に、手指の消毒、および検温の徹底。
- ⑧ こまめに手洗い、うがい、消毒を実施する
- ⑨ 館内では3密回避、マスク着用を徹底する。（コート以外のW-up時も同様）

- ⑩ 施設（体育館・更衣室）の換気に協力する（空間除菌より換気が特に大切）
- ⑪ 定期的に接触場所の消毒を徹底（T0 セット、得点版、試合球、ベンチなどの消毒するための除菌シートなどの準備）
- ⑫ 更衣室を利用する際は大会本部の指示（人数、時間など）に従う（会場によっては、観客席や廊下等の区切られたエリアでの更衣を認める場合がある）
- ⑬ 会場内では、不要な身体接触（握手やタッチ、ハグなど）は行わない。
- ⑭ コート上の選手、審判以外はマスクを着用する
- ⑮ ベンチに戻るたびにアルコール消毒をおこなう
- ⑯ ベンチに戻ったばかりの選手は、ベンチから離れたエリアで呼吸を整えてから（このときはマスクを外して良い）、ベンチに戻る（ベンチではマスク着用）
- ⑰ 水分補給のボトルは、共用せず、選手個々に用意する。
- ⑱ 会場での食事は原則禁止とする。
- ⑲ 試合終了後、T0 および会場担当者以外は速やかに退館する。
- ⑳ 会場で発生したゴミは各自持ち帰る